

この説明書は、お薬とともに保管し、服用の際には、必ずお読みください。

第2類医薬品

漢方製剤

のどの渇きやはきけを伴う  
水様性下痢、むくみ、二日酔、頭痛に

ご れい さん  
【救心漢方】五苓散

【救心漢方】五苓散は、漢方医学の原典『傷寒論』、<sup>しょうかんろん</sup>『金匱要略』<sup>きんぎやうりやく</sup>に記載され、<sup>すいどく</sup>「水毒」に用いる薬方として知られている「五苓散」を製剤化したものです。

水毒とは、体内の組織や器官に水分が過剰に滞ったもので、胃のあたりをたたくと、水がじゃぶじゃぶと鳴ったり（<sup>いないていすい</sup>胃内停水）、からだがむくんだりする状態をいいます。

「五苓散」は、<sup>たくしゃ</sup>沢瀉、<sup>ちよれい</sup>猪苓、<sup>びくりよう</sup>茯苓、<sup>そうじゆつ</sup>蒼朮などの利尿剤の作用で、体内の水分代謝を調整し、のどの渇きや尿量減少、めまい、はきけ、頭痛、むくみなどを伴う急性胃腸炎や水様性下痢などに効果を現わします。

本方は、散（粉末）としても、煎液（エキス）としても用いられますが、【救心漢方】五苓散は、それぞれの特長を生かすために、粉末とエキスの両者を配合し、これをのみやすい散剤としたものです。

◆【救心漢方】五苓散は、次のような症状を目標として使用すると、すぐれた効きめを発揮します。

- ◇のどが渇いて、水分をとっているわりに尿量が少ない
- ◇二日酔で、はきけや嘔吐があり、頭痛やめまいがする
- ◇のどが渇いて、しきりに水を飲みたがるが、飲むとすぐ吐き、またのどが渇いてしまう
- ◇飲み過ぎや暑気あたり、寝冷えなどにより、水のような下痢（水様性下痢）をして、お腹が痛い
- ◇むくみがある

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

【守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる】  
次の人は服用しないこと  
生後3カ月未満の乳児

🗨️ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師または薬剤師に相談すること
  - (1) 医師の治療を受けている人
  - (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
  - (3) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師または薬剤師に相談すること
  - (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ

- (2) 1ヵ月位（急性胃腸炎、二日酔に服用する場合には5～6回、水様性下痢、暑気あたりに服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくなる場合

## 効 能

体力に関わらず使用でき、のどが渇いて尿量が少ないもので、めまい、はきけ、嘔吐、腹痛、頭痛、むくみなどのいずれかを伴う次の諸症：水様性下痢、急性胃腸炎（しづり腹<sup>注</sup>）のものには使用しないこと）、暑気あたり、頭痛、むくみ、二日酔

注)しづり腹とは、残便感があり、くり返し腹痛を伴う便意を催すものである。

## 用法・用量

食前または食間に水またはお湯で服用すること

年 齢	1 回量	服用回数
大人（15才以上）	1 包	1日3回
7～14才	$\frac{2}{3}$ 包	
4～6才	$\frac{1}{2}$ 包	
2～3才	$\frac{1}{3}$ 包	
2才未満	$\frac{1}{4}$ 包	

一食間とは…  
食後2～3時間  
を指します。

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること
- (2)1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること

## 成 分

[救心漢方]五苓散は、淡かつ色の散剤で、3包(1包2g)中、下記生薬の抽出乾燥エキス(五苓散料乾燥エキス)1,050mg及び粉末(五苓散末)2,250mgを含有します。

五苓散料乾燥エキス		五苓散末	
タクシャ	3.0g	タクシャ	0.6g
チョレイ	2.25g	チョレイ	0.45g
ブクリョウ	2.25g	ブクリョウ	0.45g
ソウジュツ	2.25g	ソウジュツ	0.45g
ケイヒ	1.5g	ケイヒ	0.3g

添加物としてコメデンプン、部分アルファー化デンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、セルロース、無水ケイ酸を含有します。

## 保管および取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること
- (2)小児の手の届かない所に保管すること
- (3)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4)1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること
- (5)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと

製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願いいたします。

救心製薬株式会社 お客様相談室

電話：03-5385-3211(代表)

受付時間：9:00～17:00(土、日、祝日を除く)



救心製薬株式会社  
東京都杉並区和田1-21-7